

令和5年8月19日

(一社) 地域国土強靱化研究所 社員各位

(一社) 地域国土強靱化研究所 代表理事 安原一哉

令和5年度(一社)地域国土強靱化研究所総会のご案内(第2報, URL付)

コロナ禍は一段落。しかし、6、7月の大雨、更に台風6、7号の被害と続き、記録的猛暑も収まる様子がありませんが、社員(総会に議決権をお持ちの会員)各位におかれましては、益々ご健勝のことと存じ上げます。

日頃、本法人に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、既に8月初頭にご案内いたしました。令和5年度総会を下記のとおり開催いたします。ご多忙のことと存じますが、是非、ご出席いただきますようお願いいたします。

なお、未だご出欠をお知らせいただいております方、<別紙1>「出欠確認兼委任状」(p.3)を、期日(8/25日)までに、ご提出いただきますよう、お願い申し上げます。

— 記 —

◆日時: 令和5年9月1日(金) 13:30 ~ 14:30

◆場所: Zoomによるオンラインで開催 (URLは、p.2をご覧ください。)

◆次第: (詳しくは、「令和5年度LRRI総会資料」(8/7)をご覧ください。)

1. 開 会
2. 代表理事挨拶
3. 定足数の確認
4. 議長選任
5. 資料の確認
6. 議事録作成人並びに署名人の選出
7. 議 案

第1号議案 令和4年度活動報告

第2号議案 令和4年度活動計算書報告
(会計監査報告付)

第3号議案 令和5年度事業計画

※終了後、「LRRI交流会」(14:40~16:30)がございますので、併せてご参加ください。

以上

オンラインに使用します Zoom の URL

====【通常総会 ZoomID】=====

トピック: Zoom meeting invitation -

LRRRI 令和 5 年度通常社員総会

日 時: 2023 年 (令和 5 年) 9 月 1 日 13 : 30~14 : 30

※開室は 13 : 15 を予定しております。

Zoom ミーティングに参加する

<https://us06web.zoom.us/j/83351487300?pwd=bUpVQ0w5S1Zlc2d5QlozWnZ4Rk1qQT09>

ミーティング ID: 833 5148 7300

パスコード: 4x6iig

=====

※【お詫び】前報で年及び開始時刻が誤っておりました。お詫びして訂正いたします。

↑ ↓ : 【お問合せ】事務局 : 須田 (h.suda@sweet.ocn.ne.jp、携帯 : 090-8591-4129)

====【「LRRRI 交流会」 ZoomID】=====

トピック: Zoom meeting invitation -

令和 5 年度 LRRRI 交流会

日 時: 2023 年 (令和 5 年) 9 月 1 日 14 : 40~16 : 30

※開室は総会終了後〔14:30 頃〕を予定しております。暫くお待ちいただく可能性がございます。予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

Zoom ミーティングに参加する

<https://us06web.zoom.us/j/86390829064?pwd=aHZWUU9RUzILV01MUWlWc09QaUduUT09>

ミーティング ID: 863 9082 9064

パスコード: 5m8pLC

=====

※総会とは異なる URL を使用いたします。切り替えに 5 分程要しますので、ご了承ください。

以上

<別紙1>

★総会出欠確認兼委任状★

～ 該当欄に○印をご記入ください ～



() 令和5年度 地域国土強靱化研究所(LRRI)総会にオンラインで出席します。

() 令和5年度 LRRI 総会を欠席し、議決について議長に委任します。

() 令和5年度 LRRI 総会を欠席し、議決について_____氏に委任します。

※なお、「総会開催のお知らせ」(7/31) 及び「総会のご案内」(8/8) に既にご返事いただきました場合は、重ねてご提出いただく必要はございません。

※総会後の「LRRI 交流会」に新たに参加申込みされる場合は、<別紙2>でお願いいたします。

◆ご所属： _____

◆ご氏名： _____

恐れ入りますが、上記の「出欠確認兼委任状」を、1週間後の令和5年8月25日(金)までに、次のメールアドレスまでお送りください。

* 送り先：LRRI 事務局 staff@lrri.or.jp (@以下エル・アール・アール・アイです)

担当 岸田隆夫・米川恭子

LRRRI 交流会のご案内

◆趣旨／目的

- ・新入会員のご紹介
- ・会員の所有する技術や手法、及び、知見の交流

◆日 時：2023年9月1日（金）（14：40 – 16：30）（総会后）

◆方 法：オンライン（Zoom）（URL は、p.2 をご覧ください。）

◆新入会員のご紹介と技術交流（110 分）

<総合司会> （理事 伴 夏男）

1. 開会挨拶 と 新入会員様のご紹介（代表理事 安原一哉）（15 分）

- ・（賛助会員）：(株)福山コンサルタント さま・（一社）GLOSS 研究会 さま
- ・（個人会員）：小林 諒 さま・森 修一 さま・常田 賢一 さま・末次 忠司 さま
- ・（協力会員）：浅田 寛喜 さま

2. 技術交流：脱炭素社会の構築、地域と国土の強靱化に向けて “LRRRI に期待すること、出来ること”

- ・ 趣旨説明：代表理事 安原 一哉（70分=10分×1+15分×4）
- ・ トピック 1：「リスク決定要因の対応（Response）について考える」山田 岳峰 会員
- ・ トピック 2：「興味があり、実現を期待していること－LRRRI ができることの参考－」常田 賢一 顧問
- ・ トピック 3：「サステナブル経営として強靱化を考える」
(株)福山コンサルタント 福島 宏治 代表取締役 会長
- ・ トピック 4：「CREST2023 への LRRRI の貢献」安原 一哉 代表理事

3. 総合討論（コーディネータ 代表理事 安原 一哉）（20 分）

4. 交流会 閉会の辞（副代表理事 岸田 隆夫）（5 分）

◎話題提供（トピック 5）をご希望される方は、8/18（金）までに、下記事務局までご連絡をお願いいたします。

プログラムは上記を予定しております。演題・発表資料は後日、ご参加の方に配信いたします。

新たにご参加申込みの方は、p.5 の<別紙 2>にご記載のうえ、8/25（金）までを目処に、事務局（staff@lrri.or.jp）までお申込みください。

以上

<別紙 2>

令和 5 年度 LRRI 交流会へのご参加申込み用紙

◆ご 所 属： _____

◆お申込み者ご氏名： _____

下記のとおり、オンラインでの参加を申込みます。

ご参加者 代表ご氏名			
事業所名			
住 所	〒		
部署お役職		ご担当者	お申込み者と異なる場合
電 話		FAX	
E-mail			
会員、 非会員別	・ 会員（1. 特別賛助会員、2. 賛助会員、3. 個人会員、4. 協力会員） ・ 非会員（会員申請予定の方、または、会員申請中の方） ・ 非会員		

同一の企業（組織）からご参加される方は、お名前を下記にご記載ください。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※個々のアドレスからご参加の場合は、お名前とそのアドレスを併記ください。
別々の用紙で申込む必要はございません。

※令和 5 年 8 月 25 日(金)までを目処に、下記事務局までお送りください。

【お送り先・お問合せ先】 事務局（staff@lrri.or.jp） 担当：岸田隆夫・米川恭子

交流会テーマ：“脱炭素社会の構築、地域と国土の強靱化に向けて “LRRRI に期待すること、できること”

- ・ 趣旨説明：代表理事 安原 一哉 (70分=10分×1+15分×4)

トピック (話題提供)

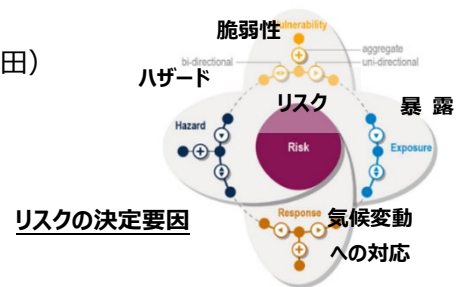
- ① 「リスク決定要因の対応 (Response) について考える」 山田 岳峰 会員 (民げ初)
- ② 「興味があり、実現を期待していること – LRRRI ができることの参考 –」 常田 賢一 顧問 (国研)
- ③ 「サステナブル経営として強靱化を考える」
(株)福山コンサルタント 福島 宏治 代表取締役 会長 (民コガ)
- ④ 「CREST2023 への LRRRI の貢献」 安原 一哉 代表理事 (大学)

総合討論 (コーディネータ 代表理事 安原 一哉) (20分)

トピックの趣旨 (敬称略) (LRRRI 社員お手元資料)

- ① 「リスク決定要因の対応 (Response) について考える」 (山田)

- ・ IPCC AR6 で紹介された新しい Risk の考え方
- ・ リスク管理の鍵となり得る対応 (Response) とは
- ・ 地域での身近な対応について考えてみる
- ・ 地域国土強靱化研究所・LRRRI への期待



- ② 「興味があり、実現を期待していること – LRRRI ができることの参考 –」 (常田)

- ・ 発行した書籍で主旨とした最適化の視点から、今後、進めることが必要な課題を4つ提示する
- ・ 課題ごとの事例を示し、理解を深めて頂く
- ・ 提示課題が LRRRI および会員ができることの参考になるとよい。

- ③ 「サステナブル経営として強靱化を考える」 (福島)

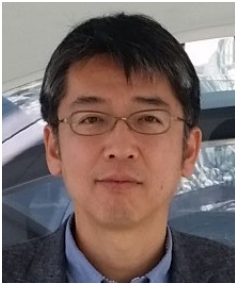
- ・ 変化する生態系、社会、経済的環境の中で、地球環境や社会全体に目配りしながら、事業を継続し、社会への貢献によって、価値創造を重ねていくことは、組織の社会的使命です。
- ・ 持続可能性を意識した経営を、一人ひとりが自分事として捉えて、学び、実践していくことが、地域と国土の強靱化への道、豊かな人の道だと考えます。この視点から、“LRRRI に期待していること”について、企業経営の視点を中心に話題提供します。

- ④ 「CREST2023 への LRRRI の貢献」 (安原)

- ・ 令和5年11月に福岡市で開催されます第2回環境に配慮した持続可能な建設技術に関する国際会議 (CREST2023) の WORKSHOP (持続可能で強靱な地盤技術の現状) において提供する話題の紹介をする。 ◆ 話題提供のタイトル：LRRRI’s Activities for Climatic Sustainability (気候変動における持続可能性に関する LRRRI の活動)
- ・ <概要> 地域国土の強靱化の課題のうち、気候変動に伴う地盤災害に焦点を当て、LRRRI における過去3年間の取り組みを報告し、併せて、LRRRI 会員の関与する技術例を紹介する。

講師プロフィール (LRRI 社員お手元資料)

① (一社)地盤品質判定士会神奈川支部幹事 & 鹿島建設 技術研究所部長 山田 岳峰 氏



- ・1990年鹿島建設入社、本社技術研究開発部門を中心に勤務。東京国際空港D滑走路拡張工事、水封式LPG地下備蓄基地工事、首都高山手トンネル工事、液状化対策技術の開発に従事。2012年土木管理本部土木技術部担当部長、現在、技術研究所担当部長。
- ・土砂災害モニタリングの技術開発に従事、土木学会地震工学委員会、地盤工学会、地盤品質判定士会に所属。災害・土砂災害の予測・予防・対応、英語での情報発信に興味あり。博士(工学)、技術士(建設部門)、地盤品質判定士。

② (一財)土木研究センター顧問, LRRI 顧問 & 応用地質(株)顧問 常田 賢一 氏



- ・略歴：1989年土研/振動研究室長，1993年北陸地整/金沢工事事務所長，1995年JACIC研究第2部長，1996年土研/道路交通総括研究官，2000年(独法)土研/耐震研究G長，2004年大阪大学大学院教授，2017年大阪大学名誉教授，2017年(一財)土木研究センター理事・理事長。現在、2021年8月～応用地質(株)顧問。国交省道路技術小委員会委員など。
- ・専門：土質・地盤・土工構造物・防災。興味：堤防の越流破堤、盛土等の性能評価。
- ・資格：博士(工学)・技術士(建設部門)。

③ (株)福山コンサルタント代表取締役会長 & (株)FCホールディング代表取締役社長 福島 宏治 氏



- ・漁師、中学教師を経て、1983年福山コンサルタント入社。東京支社、海外部門子会社を中心に勤務、1993年からは福岡本社に異動し同社株式上場担当を経て、財務、資本政策、経営企画部門に従事。
- ・2014年同社代表取締役社長(2023.7より会長)、2017年持株会社FCホールディングス(傘下法人7社)を組成し代表取締役社長(現任)。
- ・2017年～2021年建設コンサルタンツ協会九州支部長(現顧問)。
- ・インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムサブリーダー。

④ (一社)地域国土強靱化研究所代表理事・茨城大学名誉教授 安原 一哉 氏



- ・1968年九州大学助手，1971年西日本工業大学講師，助教授，教授。1990年茨城大学教授，2010年茨城大学名誉教授，併せて，現在，同大学地球地域環境創成機構(GLEC)特命研究員，EPS開発機構会長，(一財)茨城県建設管理センター評議員，水戸地方裁判所専門委員，(一社)茨城県コンサルタンツ協会技術顧問他，2010年-2014年IPCC AR5 Review Editor。
- ・専門は，軟弱地盤工学，地盤改良・地盤補強，気候変動適応地盤工学。2019年から日越大学(VJU, Hanoi)で，Climate Change Risk Managementを講義している。工学博士。